

令和2年度 学校評価報告書（実施結果）

県立海老名高等学校

視点	4年間の目標 (令和 年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月29日実施)	総合評価(3月31日実施)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
1	教育課程 学習指導	<p>①身につけさせた学力を明確化し、「海老名高等学校スタンダード」を構築・実践する。</p> <p>②生涯学び続ける力の育成を図るために「主体的・対話的で深い学び」の実現を柱に組織的な授業改善を行う。</p> <p>③「総合的な探究(学習)の時間」の充実に向けて、各学年の実践を通して、探究力・創造力の育成を図る。</p>	<p>①②新型コロナウイルスのまん延防止に伴う臨時休業に係る学習支援を行い、生徒の学習を円滑に進める。本校の生徒に「身につけさせたい力」を明確にし、教科を中心にカリキュラム・マネジメントに取り組む。第Ⅰ期に引き続き、第Ⅱ期の指定校事業として「新たな学習評価に係る研究」を通して、自ら学ぶ力を育む授業改善に組織的に取り組む。</p> <p>③「総合的な探究(学習)の時間」を組織的に計画的に取り組み、組織的な体制を構築する。</p>	<p>①②家庭学習の充実に向け、G suiteを活用した学習支援体制を確立し実践する。クラウド学習支援等のICT教育についてICT推進チームを中心に全職員で取り組む。また、カリキュラム検討委員会を中心に、新学習指導要領に基づくカリキュラムを作成する。「新たな学習評価に係る研究」に係る取組を通して、よりよい指導と評価の計画を作成し、公開(研究)授業を行う。</p> <p>③「総合的な探究(学習)の時間」で探究心と課題解決力の育成をめざした指導計画を作成し実践する。効果的な職員研修を行い、指導力向上を図る。</p>	<p>①②ICT推進チームを中心にG suite等を活用した学習支援に取り組む事ができたか。家庭学習と連携した学習支援ができたか。「新たな学習評価に係る研究」で効果的な指導と評価の計画を改善し授業で実践できたか。生徒の振り返り等を踏まえ、昨年度に比べ、よりよい公開(研究)授業を実施できたか。</p> <p>②新学習指導要領にもとづくカリキュラムを作成できたか。</p> <p>③「総合的な探究(学習)の時間」の指導計画を作成し、実践できたか。職員研修を実施できたか。</p>	<p>①新型コロナウイルスのまん延防止に伴う臨時休業や分散登校、短縮授業等への対応を迅速かつ円滑に進めて、生徒の学習活動への影響を極力減らす事に努めた。</p> <p>②「新たな学習評価に係る研究」を通して、効果的な指導と評価の計画を改善し、オンラインによる公開研究授業及び研究協議を実施した。</p> <p>③カリキュラム検討委員会を中心に、新学習指導要領に基づくカリキュラムを作成した。</p> <p>③「総合的な探究の時間」で探究心と課題解決力の育成をめざした指導計画を作成し実践した。また、学年単位で職員研修を行い、指導力向上を図った。</p>	<p>①「海老名高等学校スタンダード」の構築には至らなかった。来年度の課題としたい。</p> <p>①ICTを利用した学習支援、家庭学習と連携した学習支援をさらに深化する必要がある。</p> <p>②来年度は第Ⅱ期の指定校事業の最終年となるので、「新たな学習評価に関する研究」の総括を行い、自ら学ぶ力を育む授業改善に組織的に取り組む。</p> <p>②新学習指導要領に基づくカリキュラムの更なる改善に努める。</p> <p>③3年時の「総合的な探究の時間」の指導計画を作成し実践する。また、「総合的な探究の時間」に組織的・計画的に取り組みするための校内体制を構築する。</p>	<p>・オンラインでも自主的に取り組める生徒は伸びているので、主体的に取り組むことが大切である。</p> <p>・指定校事業の取組について、評価の設定が難しいと思うが、県の指示により大きな評価項目は決まっていると聞いて安心した。生徒に不公平が出ないように評価してもらいたい。</p> <p>・生徒一人ひとりが高い学力を持っている、レベルが高い高校と評価されるように、これまで以上に取り組んでください。県立産業技術総合研究所の教育アウトリーチ活動と連携できると思います。</p>	<p>①新型コロナウイルスのまん延防止に伴う臨時休業や分散登校、短縮授業等への対応を迅速かつ円滑に進めて、生徒の学習活動への影響を極力減らす事に努めたが、ICTを活用した学習支援体制の確立には課題が残った。</p> <p>②「新たな学習評価に係る研究」を通して、教員の授業改善及び生徒の学習改善に向けた取組を実践した。来年度は「新たな学習評価に関する研究」の総括を行い、自ら学ぶ力を育む取組をより一層進める必要がある。</p> <p>③「総合的な探究の時間」で探究心と課題解決力の育成をめざした指導計画を作成し実践した。また、学年単位で職員研修を行い、指導力向上を図った。来年度は3年時における指導計画を構築する必要がある。</p>	<p>①ICTを活用した家庭学習の充実に向け、G suiteやクラウド学習支援等のICT教育についてICT推進チームを中心に全職員で取り組む。</p> <p>②「振り返りシート」をさらに改善して、効果的な学習評価の方法及び更なる授業改善・学習改善を追求していく。</p> <p>③探究学習チームを中心に、3年次における指導計画を立案し実践する。併せて、1・2年時の「総合的な探究の時間」も昨年度の反省に基づいて改善していく。</p>
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①「文武両道」を柱に「自主・自律」の精神を培い「規律ある学校生活」を送り、他者と協働し社会に貢献できる力を育成するために、特別活動の充実、部活動の活性化を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりが充実した学校生活を送るために、組織的な教育相談体制を構築し実践する。</p>	<p>①「自主・自律」を柱に規律ある学校生活に主体的に取り組む姿勢を育成する。学校行事や部活動を通して、自主的に計画し運営する力をはぐくむ。自らの健康と安全に対する意識を向上させる。</p> <p>②全職員で生徒一人ひとりの理解を深め充実した学校生活を送れるよう組織的に支援する。教育相談コーディネーター、スクールカウンセラー等と連携し教育相談の充実を図る。</p>	<p>①基本的な生活習慣を確立するために学年団等で情報共有し生徒支援を行う。SNSの利用について学年集会やHR活動等でチラシ・リーフレット等を活用し生徒の意識の醸成を図る。交通安全教室・自転車点検等を定期的実施する。</p> <p>②教育相談に関する職員研修会を実施する。ケース会議を積極的に行い、スクールカウンセラーや外部機関と連携し組織的に取り組む。</p>	<p>①基本的な生活習慣を確立するために学年会等を活用し、情報共有できたか。遅刻の回数が昨年度より減少したか。学校行事等のアンケートを通して、生徒が主体的に協力し活動する事ができたか。SNSの利用について学年集会やHR等で月1回以上意識の醸成を図る機会をもつ事ができたか。交通安全についての知識とマナーを身につけさせる事ができたか。</p> <p>②教育相談に係る職員研修を実施できたか。ケース会議を積極的に行い、外部機関等と連携し生徒支援に役立てる事ができたか。</p>	<p>①新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からマスク着用的重要性、手洗いの励行、三密を避ける等の生徒に対する呼びかけを集会等が開けない中、放送等で行う事ができた。</p> <p>①学校行事や部活動において、新型コロナウイルス感染症対策のためのガイドラインに従って、計画を修正し、生徒が自主的に運営できるよう支援した。行事の中止や規模縮小等で、例年に比べ生徒が主体的に協力し活動する事は減少したが、その中でもできる事を自ら探して種々の活動をやり遂げた。様々な制約がある中、1年生に対して人権教育講演を実施し、他の人を思いやる気持ち、理解する心の必要性を訴えかけた。学年毎に自転車点検を行う等する中で交通安全についての知識とマナーを身につけ</p>	<p>①学校行事や部活動において、急な対応を迫られる際にも、生徒が自主的に計画できるよう引き続き支援する。まだまだ先が見通せない中ではあるが、先例にとらわれず様々な状況を想定して生徒の安全を第一に、基本的生活習慣の確立に向けて効果的な方法を模索していく。交通安全や人権等について高い意識を持たせるため、どのような機会を設ける事が望ましいのか検討する。この状況下においてモラルのある行動を取るよう生徒への啓蒙活動を行う。</p> <p>②ケース会議の開催回数を増やし、生徒の状況把握に努め外部機関と連携して、きめ細やかな生徒支援を行う。</p>	<p>・耐震工事により校内のグラウンドが使えなくなると思うが、生徒の活動を支援してもらいたい。</p> <p>・皷月祭は海老高の特色です。大事にし、発展させてほしい。</p>	<p>①新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、マスクの着用、手洗いの励行、昼食時の行動など生徒が自覚をもって行動できた。色々と制約のある中で交通安全講話や人権研修会など必要な会議を開催することができた。</p> <p>①部活動において、新型コロナウイルス感染症対策のためのガイドラインに従って、計画を修正し、生徒が自主的に運営できるよう支援した。</p> <p>①行事の中止や規模縮小等で、例年に比べ生徒が主体的に協力し活動する事は減少したが、海老高の特色である皷月祭を大切に、発展させるため、できる事を自ら探して種々の活動をやり遂げた。</p> <p>②ケース会議のフローチャートを作成し体系的に生徒支援していく体制を構築した。</p>	<p>①常に現在の状況を把握しその時々で生徒の安全にとって必要な方策を講じる必要がある。集会等を開けないとしても工夫して講話等を開催して生徒への啓蒙活動を行っている。</p> <p>①学校行事や部活動において新型コロナウイルス感染症対策や耐震工事による活動場所変更・縮小など急に対応する場面でも、生徒が主体的に活動できるよう支援する。</p> <p>②スクールカウンセラーや外部機関などと連携し生徒の状況の把握や適切な対応を遅滞なく行っていく。</p>

視点	4年間の目標 (令和 年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月29日実施)	総合評価(3月31日実施)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
						せた。 ②スクールカウンセラー等と連携し、必要な生徒に対して外部機関と連携し組織的に取り組む事ができた。				
3	進路指導・支援	①生徒一人ひとりの自己実現に向けて、3年間を見通したキャリア教育計画を構築し、支援体制の充実を図る。 ②生徒の第一志望を達成するために組織的に取り組み、より高い進路実現を図る。	①生徒一人ひとりの自己実現に向けて、3年間の効果的なキャリア教育を計画し実践する。 ②高大接続改革等の情勢を見通して、的確な情報収集を行い、的確な進路指導を行う。生徒の第一志望を尊重した進路実現にむけ組織的に支援する。	①今までの成果と課題を検証する。3年間の段階的で継続的なキャリア教育を計画し、実践する。 ②大学入学共通テストに向け、生徒に的確に情報を発信し、生徒一人ひとりの第1志望の進路実現にむけて、面談やガイダンスを活用し、組織的に支援する。	①3年間を見通したキャリア教育計画を作成し、実践できたか。また、生徒の自己実現への意識の醸成を図る事ができたか。 ②第3学年の生徒の第1志望の進路実現を60%程度達成できたか。 定期的な面談やガイダンスを行い、支援に役立てられたか。	①本年度のコロナ禍の中、大学入学選抜制度の大きな変更もあり、キャリア教育計画についてはあまり取組めなかったが、適宜生徒への指導は行った。 ②三者面談や二者面談を設定し個別の支援に役立てる事ができた。第3学年の生徒の第1志望の針路実現は45%の達成に留まった。	①学校全体で目標や課題を共有し、指導方法等共通認識を持ち組織的に取り組む。 ②面談等の機会は設定しているが、支援の質的向上を図るため、教員の更なる意識向上と研修が必要である。	・大学情報、専門学校情報が不足しているのと思いません。その学校の素晴らしさや人気のある点をキャリア教育支援情報とともに校舎内、至る所に紹介してください。 ・地元の消防署、警察署と連携した防災、防犯体験は継続してください。地元施設、公園の現状での清掃活動は効果的と感じます。早月祭花火大会への缶集めをしている生徒さんの姿を地元民はしっかり見えています。	①大学入学選抜制度が大きく変化しつつある現在において、迅速で正確な情報収集に努め、教職員一人ひとりがそれらを十分に理解したうえで、生徒・保護者に分かりやすい形で発信していく。3年間を見通したキャリア計画を充実したものにすることも正確な情報収集は重要と考える。 ②模擬試験を受験させているが、本年度は生徒一人ひとりの進路指導に効果的に生かすという視点が弱かった。第3学年の生徒の第1志望の進路実現率を上げるためにも模擬試験を活用した指導を充実させていく。	①多岐にわたる進路情報の入手に努め、それらの情報を有効に活用することにより、組織的、効果的なキャリア教育の計画実現させていく。生徒・保護者向けには定期的に「進路だより」等を発行するなど、適切に情報を発信していくことにより生徒自身のキャリア意識を高めていく。 ②外部模擬試験の受験結果等から客観的に生徒一人ひとりの課題を把握し、面談等を行いながら効果的な指導を実現するよう努める。
4	地域等との協働	①コミュニティ・スクールを円滑に推進する。学校運営協議会を柱とし地域連携を進め地域貢献を図り、「地域に信頼される学校づくり」に取り組む。 ②地域に根ざした環境教育を推進する。	①コミュニティ・スクールを計画的に効率的に推進する。生徒が地域行事やボランティア活動に積極的に参加する機会を多くし、地域貢献を図る。 ②地域との連携を図り、環境教育の充実を図る。	①地域連携部会等を活用し地域連携を進める。生徒にボランティア活動等の情報を積極的に発信し、参加する機会を増やす。 ②地域と連携した環境教育の実践に向け、学校運営協議会の熟議を行い、実践に向け検討する。	①昨年度よりボランティアや地域行事等へ参加する生徒が増えたか。 ②学校運営協議会を年3回開催できたか。 部会を開催し、地域連携に関する熟議をし、実践に活かす事ができたか。	①今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、地域行事等が中止になる事が多かったが、配信による音楽祭等には参加するよう努力した。 ②同じ理由で今年度は書面開催となったが各位から様々な意見、提案をいただいた。	①状況の推移をみながら、生徒の安全を保障する中でできるボランティア活動や地域行事等へ参加方法等を模索していく。 ②提案いただいたものの中から実現可能な事を考えて、より良い地域等との協働を図りたい。	・今年は残念ながら「コロナ」で中止になりました。工夫によってはやれるかと思いましたが、2グループから3グループに編成し、作業は密にならず無言で作業に徹する。 ・えびな支援学校高等部との交流を検討してはどうか。健常者と障がい児が自主的に関係を築ける環境こそ、本当の相互理解が生まれると思います。 ・海老名の地域特性を活かした環境教育の検討については、海老名市との連携をしたほうが良いと思う。 ・地元の消防署、警察署と連携した防災、防犯体験は継続してください。地元施設、公園の現状での清掃活動は効果が薄いと感じます。早月祭花火大会への缶集めをしている生徒さんの姿を地元民はしっかり見えています。	①残念ながら3月からの学校休業に始まり分散登校、時差登校等の措置を考えるとボランティア活動や地域行事への積極的な参加はできなかった。 ②学校運営協議会の年3回開催を考えていたが、3月の1回開催となり他は書面開催となった。	①この状況を経験して、できることの範囲が分かってきたのでその範囲内で地域に貢献していく。 ②開催方法を工夫すれば可能と思われるので、年3回開催し評議員の方々から多角的な提言をいただく。
5	学校管理 学校運営	①安全・安心な教育環境の実現を図る。 ②確かな防災教育の推進と防災意識の向上を図る。 ③教職員の働き方改革を推進し効率的で効果的に業務を遂行する。あわせて、教育者としての自覚をもち責任ある行動を行い、事故・不祥事防止に取り組む。	①定期的な点検・補修を行う。令和3年度からの耐震工事を円滑に進めるために計画的に準備する。 ②新型コロナウイルスにかかる様々な課題の解決に取り組む。生徒主体の防災教育を推進する。 ③教職員の多忙化の解消に向けて効率的な業務の精選等を推進する。	①令和3年度からの耐震工事に向けて事務室と連携し組織的に取り組む。 ②新型コロナウイルスにかかる様々な課題の解決に全職員で取り組み、迅速に対応する。生徒・職員共に学校生活が健康で安全に送れるよう効果的な取組を行う。 ③多忙化解消に向け効率的な業務の精選、計画的に遂行する。	①耐震工事に向けて、準備等教職員と事務室が連携・協働し円滑に進める事ができたか。 ②新型コロナウイルスに係る様々な課題に全職員で取り組む事ができたか。生徒・職員が健康に安全に過ごせる環境づくりを行ったか。 ③業務の精選等ができたか。	①耐震工事に向けて、部屋の片付けや配置図に関して率先して取組んだ。また、他の教職員のサポートし、事務室と連携協働し円滑に進める事ができた。 ②新型コロナウイルスに係る課題(教室の消毒やトイレ清掃等)に対し、全職員で取組む事ができた。生徒・職員が健康に安全に過ごせるように努めた。 ③関連する業務を組合せ、無駄を少なく業務を進める事ができた。	①耐震工事に向けて、今後生じる様々な問題に、全職員で協力して取り組む。また事務室とも綿密に打合せを行い業務を進める。 ②生徒・職員の健康・安全を第一に考え、新型コロナウイルスに係る様々な課題に対しスピード感をもって、臨機応変に取り組む。 ③業務をさらに精査し効率よく行うため、適材適所で人材を配置する。	・生徒(先生方)の精神面のことを考えれば、現在の取り組み以上のことは実施しない方が良いと思われません。率直に言って、家庭内での防止及び予防対策はもってできない。 ・感染症対策を徹底し、教育活動を工夫して展開してほしい。	①耐震工事に向け、事務室と綿密に連絡を取りながら協力して、現校舎のゴミ処理や仮設校舎の教室配置決定等の業務を進める事ができた。職員に対して引越に向けて、必要な書類の見本を作成しサポートした。また、現校舎のゴミ処理や片付けを率先して進めた。今年度は引越に向けてさらに細かな準備をする必要がある。 ②生徒・職員が健康・安全に学校生活を送れるように、新型コロナウイルスの感染予防策を検討し実践した。トイレ清掃時のマニュアルを作成したり、掃除を行うときに必要な清掃用具や消毒液の準備を行った。今年度も油断することなく、引き続き対策を行う。 ③グループ内の関連する業務を組合せ、効率よく業務を進める事ができた。	

